

2021年7月12日

ミサワホーム社員が

第63次南極地域観測隊に参加

- 2008年の第50次南極地域観測隊から14期連続、累計18名が観測隊に参加
- 今回選任の堀川は第53次越冬隊員として活動経験があり、10年ぶり2度目の参加
- 基地内のメンテナンスに加え、「南極移動基地ユニット」における新たな実証実験をフォロー



撮影：第53次南極地域観測隊 堀川秀昭氏

ミサワホーム社員の堀川秀昭（ほりかわひであき）は、第63次南極地域観測隊員に選任されました。7月1日より、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所（以下、極地研）の職員として勤務を開始しており、11月には南極の昭和基地に向けて出発します。今回を含めミサワホームからの南極地域観測隊への参加隊員数は累計18名、第50次から14期連続の参加となります。

南極地域観測は、南極条約に基づく国際協力のもと国が実施する事業の一つです。1957年以来、60年以上にわたって実施され、日本の活動拠点となる昭和基地では、超高層物理学、気象学、雪氷学、生物学、地学など幅広い分野で観測活動が続けられています。

観測隊は、夏季の2ヶ月間滞在する夏隊と一年超にわたり滞在する越冬隊があり、それぞれ研究観測や定常観測などを担当する「観測系」隊員と基地の設備や生活の維持を担当する「設営系」隊員で構成されています。限られた人数で基地運営をする必要があるため、隊員はいずれも各分野の専門家であることが求められます。

このたび「設営系」の越冬隊員として同観測隊に参加する堀川は、10年前の第53次越冬隊員として活動経験があり、今回2度目の参加となります。建設経験のある隊員が少ない中、建築・土木担当部門の越冬隊唯一の隊員として他の隊員たちを主導し、昭和基地内の既存建物、設備のメンテナンス工事などを総合的に進めていきます。また、極地研とともに昨年まで実証実験を行っていた「南極移動基地ユニット」については、第64次夏隊で標高約3,800mの南極内陸に位置するドームふじで新たな実証実験が予定されており、堀川も豊かな経験を踏まえ、本ミッションのフォローにつく予定となっています。

同観測隊は11月に日本から南極観測船「しらせ」に乗船し、昭和基地を目指します。近年は、オーストラリアのフリーマントルから「しらせ」に乗船していた隊員たちですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、横須賀港から南極に向かい、年内に昭和基地に到着見込みです。現地到着後は第62次越冬隊員から業務を引き継いで活動し、2023年春に帰国予定です。

■ 隊員プロフィール

○堀川秀昭（ほりかわひであき）

1997年からミサワホーム建設(株)の専任大工として長年住宅施工に従事。2011年第53次越冬隊員として昭和基地で活動、帰国後は「南極クラス」の講師として、全国の小中学校や病院内の院内学級などで、現地での貴重な経験を多くの子供たちに伝えてきました。今回、10年ぶり2度目の参加となります。



シャチをイメージした堀川隊員のキャラクター

■ 南極とミサワホーム

ミサワホームは1968年の「第10居住棟」以降、南極地域観測隊の活動や生活を支える建物を受注し、その実績は累計36棟、延床面積約5,900㎡になります。建物に採用されている木質接着複合パネルは、徹底した品質管理体制の下、外装、断熱材、内装があらかじめ艤装され、昭和基地での夏場の限られた建設期間で、建築経験のない隊員でも短工期で施工でき、厳しい南極の気候に耐え続ける性能が特長です。過酷な環境下で培われてきた技術やノウハウは日本でも活かされており、居住棟に用いられているものと同じ120mmの厚さの木質接着複合パネルを採用した新構法「センチュリーモノック」を2017年に4月に開発、販売しました。

また、全国の学校生活協同組合や教育関連団体と連携し、極地研の協力を得て、南極地域観測隊に参加した社員らが講師となり、小中学校を中心に授業を実施する教育支援プログラム「南極クラス[※]」を2011年から開催しています。生徒には、遥か遠くの南極の世界を身近に感じてもらうとともに、将来の夢や希望を持つこと、お互いに支えあいミッションを達成していくチームワークの大切さなどを伝えています。昨年度までに、延べ1,890校で19万2千人以上を対象に開催しており、今年度も全国で実施中です。

※南極クラス：<http://www.eco.misawa.co.jp/antarctic-class/>



看護師向けセミナーも開催



院内学級で「南極クラス」実施



南極移動基地ユニット

撮影：第61次南極地域観測隊 鈴木聡 氏

* この件に関する問い合わせ先 *

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課 阿部正成 大倉海人

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838 E-mail : Kaito_Okura@home.misawa.co.jp